



発行所 十月号  
財団法人全日本仏教会  
東京都中央区築地  
三ノ一(本願寺内)  
電話(54)〇三三三  
発行人 栗本俊道  
編集者 高橋忠雄  
印刷所 栄昌堂

### 主張 地方仏教徒会議に期待す

さきに本会が提唱した全国各地  
区仏教徒会議はよく本会の主旨を  
理解した府県仏教会によつて来る  
十月初旬より別記の通り各地区で  
続々実行に移される事になった。  
之はずでに明かにされている通り  
才六回全日本仏教徒会議議事寺大  
会で決議された諸事項の処理のた  
め開かれた各種専門委員会の有力  
なる意見として右大会における成  
果を普及し、具体化するために地  
方会議を開くべきであるとの結論  
に基き開かれるものである。

従つて本会は之に指導講師、専  
門委員等を派遣し全国共通の諸問  
題の提案と解説とを行う他、地方  
獨特の諸問題に就ても出来る限  
りの助力を惜しまないつもりであ  
る。只注意すべきことは従来これ  
らの会議では中央に於てもそうだ  
が特に地方においては発言者が少  
く且二、三の限定された人へのみ  
集中され、その結果思わざる方向  
に結論が飛躍する事である。この  
会議は飽くまで地方僧俗の意見の  
交換の場であり悩みの発表の場であ  
なければならぬ。従つて所謂の  
演説口調よりも懇談形式で和気あ  
い／＼の裡に話が進められる事を  
希望する。

問題をとり上げるにしても理想  
論のむし返しでなく具体的問題の  
現実に沿うての解決策を中心に掘  
り下げた討論をこそ希望するもの  
であり、之を見聞した全国の僧俗  
が共鳴共感を覚えるような生々し  
い問題の討議されん事を切望して  
止まないものである。運営に当る各  
位の努力と研究とにまつこと切な  
るものがある。

思うに今や吾々仏教徒に対する一  
般社会の見方は過大評価による期  
待から失望へ、仏教界の現実凝視  
より軽侮へと変わりつゝある。之は  
誠に怖るべく且悲しむべきことだ  
である。かくては宗教家の教化活動  
などは真に価値なき空言に墮する  
怖れさえ覚える。

この際吾々仏教者は歴史の現実  
に対してもつと危機意識をもつと  
共にそれを基底として大きく変り  
つゝある社会大衆の悩みに応えね  
ばならない。即ち民族主義か帝国  
主義か、一つは中近東に於て、一

つは台湾海峡に於て一触即発の情  
勢を深く身近かに感ずると共に、  
放射能障害の科学的証明に背を向  
けて核実験は次々と行われている  
現実下に、庶民はどう考え、どう  
生きているかを地方大会に於ても  
深く静かに考えねばなるまいと思  
う。

地方会議を企画し推進する地方  
仏教会の幹部の御苦勞に衷心から

敬意を捧げると共に全国各地の仏  
教徒会議が名実共に成長し、仏教  
徒の発言が社会人の実生活と直結  
し、その一つ／＼が、強い共感と  
反響あるように念願して止まな  
い。

併せて吾々仏教徒の組織が、更に  
固く更に強く結ばれる機会ともな  
るならば喜び之に過ぐるものはな  
い。

### 常務理事会、各宗宗務総長 関西地区評議員合同会議開かる

去る五日京都知恩院で……

今日日本仏教会は、去る九月五日  
京都知恩院にて常務理事会、各宗  
宗務総長、関西地区評議員合同  
会議を開いた。常務理事会では、  
今秋タイ国で開かれる才五回世界  
仏教徒会議に出席する代表を内  
定。釈尊二千五百年祝典について  
は、趣旨、経過、事業予算案の説  
明があり、レストハウスの建立案  
等を承認し、宗派協同募金をする  
ことについても了承した。その他  
の協議および報告事項は次の通り  
であつた。

議の結果これを承認し、宗派協同  
募金を行うことについても満場一  
致をもつて承認された。  
なお、この募金は既に彼岸中に  
かけて着々展開されている。

- ▼ルンビニー園花園化運動の件
- ▼地方仏教徒会議、講習会の件
- ▼仏教政治研究会設置の件
- ▼自民党主催宗教問題懇談会の件
- ▼墓地問題経過説明の件
- ▼セイロン厚生大臣来日歓迎の件
- ▼ビルマ大使館より門司バゴダへ招待の件

各宗宗務総長、関西地区評議員  
合同会議では、釈尊二千五百年祝  
典についての祝典計画案、組織機  
構案、実行予算案の説明があり審

### 墓地問題 解決を期して 運動を展開

関係者の協力要望

去る九月五日の全国宗務総長会  
同の席上満場一致協力が決定さ  
れた「旧境内墓地返還(譲渡)要請」  
に関する件は直に事務当局によつ  
て左記の請願書が全国各宗当局を  
通じて地区教務所向急送された。  
これと同時に「一寺院所属墓地実態  
調査書」も配布され之らの至急回  
答を全日本本部に寄せられるよう  
望んでいる。

この請願書は来る九月廿九日開  
会の国会に於て衆参両院議長宛提

出される重要資料となるものでこ  
れ亦各宗務機関の絶大なる協力が  
要請されている。

### 請願書

現在地方公共団体所有名義にな  
つている寺院旧境内墓地は寺院が  
古来境内の一部として所有し、堂  
宇の敷地、庭園、参道等(現在境  
内と称する)等に膚接し宗教行事  
執行上欠くべからざる存在の一部  
として維持して来たものである。  
徳川初期(寛永十六年七月)宗門  
改め制度により檀徒制が確定せら  
れるに及び檀徒の墳墓を所属の寺  
院に設ける風習を生み寺院境内墓  
地は少数の例外を除き殆んど寺院  
形成の決定的要素の如き存在とし  
て今日に至つたのである。

然るに明治四年正月五日太政官  
布告に依り社寺領上知令が維新政  
府に依つて発せられ境内地其他知  
行一切は上知せられたが墓地に関  
しては此の際も上知より除外せら  
れ(明治四年五月二十四日太政官  
達二五八号寺院境内ヲ一定セシム  
ルノ件)更に明治六年太政官布告  
才一四号地所名称区別に基き民  
有土地と区分せられその証として  
地券の発行を受け、更に明治八年  
七月地租処分仮規則才六章才一条  
は「墓地は民有地才三種と定め人  
民共有墓地となすべし」とせられ、  
(後明治九年六月民有地才二種に  
改めらる)等の事あり寺院に於て  
は檀徒共有の名義に依り地券の下  
附を受け、墓地の性格を明確にし  
(次頁三段目へ)

旧境内墓地返還に関する

# 積尊二千五百年祝典計画

全仏教界を挙げて協力……準備態勢着々と進む……

積尊二五〇〇年祝典計画はかねて才六回全日本仏教徒会議浅草寺大会で提案議決されて以来政府のアジア文化会議準備会の進展と併行して着々進められていたが最近に至り「アジア文化会議」が「積尊二五〇〇年を養える会」と改称されるに至つたので本会でも準備委員会、常務理事會、全国宗務総長會同を開いて「積尊二五〇〇年祝典計画案」を提唱して各方面の意見をとり入れつゝ大計画立案を準備し始めた。

## 積尊二五〇〇年祝典計画

### 趣旨

明春、日本において積尊二五〇〇年を讀えて國際的行事が実施される。わが仏教會はこれを一契機として、これに協力し或は独自性をもつて積尊二五〇〇年祝典を全國的に展開し、もつて仏教興隆に資せんとするものである。時恰かも、花まつりの期間に當るので、全國津々浦々に至るまで、國際色豊かな行事をくりひろげ、仏教徒の全國的結集に貢献せんとするものである。なお現在、國際的な仏教交流の上で、広くその重要性が認められてゐる國際仏教文化會館の建設をもこの機に実現せんことを期するものである。

昭和三十四年三月上旬―四月下旬

### 祝典開催予定地

東京、京都、大阪、名古屋、その他全國數ヶ所

記念講演予定地  
東京、京都、大阪、名古屋

記念事業  
國際仏教文化會館の建設  
昭和仏教百科辭典の刊行  
予算の概要

### 総 額

- ① 行事費 五千万円
- ② 會館建設費 一千万円
- ③ 百科辭典刊行費 三千万円
- ④ 募金の方法 一千万円

- ① 一般仏教徒募金
- ② 有力寺院からの協賛金
- ③ 財界日本の協力金
- ④ 海外日本仏教徒の協力金
- ⑤ 仏教主義學校からの協力募金

全日本仏教會事務局内におく各地方大會開催地に地方実行委員會を設ける

- ① 実行委員會の設置
  - ② 各宗宗務總長會議
  - ③ 各団体長會同
- 決議機關  
全仏常務理事會、理事會、評議委員會

### 祝典開催の聖地

- ルンビニ園
- 花園化運動

京都電大教授佐藤哲英、山崎昭見西師を中心とする関西、関東の仏教界の有志十數氏が發起人とな

り先般準備を續けて来た「ルンビニ園美化運動」は去る九日京都における發起人會を経て愈々実動に入つた。全日本仏教會でもこの趣旨に賛同し關係方面に働きかけて大いに物心両面の協賛をする事になつた。

### 記

一、目的  
世界中の仏の子供の協力で「ルンビニ園」に誕生仏を贈り、これを中心に花園を作り、平和の樂園を建設する。この運動を通じ世界の子供たちに呼びかけ「仏のみ心で平和の世界を」の運動を展開する。

二、標語  
ルンビニ園に誕生仏を贈らう。  
ルンビニ園を花園にしよう。

三、対象  
世界中の仏の子供に呼びかけるが他にこの運動に賛同する個人又は団体にも協力を求める。  
(イ)内地は仏教關係の幼稚園、保育園、同學校、ボイスカウト、ガールスカウト、一人拾円の募金を行う。

(ロ)北米、ハワイ、カナダ南米などへは夫々の機關を通じて募金を行う。  
(ハ)タイ國における才五回世界仏教徒會議の際に全世界の夫々の仏教センターに呼びかけ、特にインド、ネパール、タイ、ビルマ、セイルン等南アジアの仏教國に協力を求める。

- 四、募金額 金七百万円
  - 誕生仏とその顔繪製作費 金壹百万円也
  - ルンビニ園礼拝堂建設費 金參百万円也
  - ルンビニ園花園化実施費 金貳百万円也
  - 印刷通信連絡費 金壹百万円也
- 五、昭和三十三年九月より全卅五年四月末日迄とす。

### (前頁より)

て来たのである。政府に於いても此の發生の由来及び維持經營の事実を確認して右の処置を行つているのである。

尙地方に依り村(邑)有名義の地券交付の例も存在するが當時に於ける村(邑)又は部落の構成は寺院を中心とし一村落同一信仰の場合に之を適用して村(部落)全体所有と云うが如き解釈に基いたものである事は當時の所有名簿に徴して明白である。即ち趣旨は全く同様であり一は檀徒共有と称し一は檀徒の集団たる村(邑)部落と見なされたものに外ならない。(東京地裁大正十四年(ワ)才一四号(ワ)才三〇一五号事件判決参照)

前述の経過をとつた此の共有、又は村有墓地の名称は後日甚だしい混乱の因となつた。明治二十二年地方自治法公布の際地方の内には前掲墓地の共有を以て公有と思ひ違ひ、又村(邑)有即ち自治市町村有と読み違ひ、これ等の墓地を以て新発足の自治体有の財産なりと見る間違ひが処々に生じた。共有と云えども、その共同体は自ら範圍の限度が存する事は所謂共有林に立入り権の所有者が限られると同じである。然るに自治体内に於て公有を主張する根拠として公簿台帳の記載を以てその証であるとするものもあるが地方自治法公布時及び其の後に於いても前述の如き性格を有する墓地等共有財産の所有を地方自治体に移管すべき法的根拠も見出し得ないのである。従つて若し地方自治がその主張をなすにあつては外に贈

与、売買、若くは讓渡等何等かの所有權移轉の手續を要した筈であるにも拘らず等の措置は何等なされず又法律的根拠もなくして前述の処置に及んでゐる。

以上の様な錯誤に基く処置に依る旧境内墓地の所有に就いては当然その後問題を統廃せしめ現今尙その跡を断たない実情にある。然も墓地としての性格上、祖先崇拜の感情、宗教信仰上の問題等を加味し益々複雑化せざるを得ない。

翻つて「境内」のみに就いては明治四年五月上知の対照となり一旦國有に歸したのであるが、國民の宗教感情は之を快しとせず、しばしば論議の焦点となり、傍ら紛糾を生ずる事も屢々であり、宗教団体の返還要求も熾烈となるに及んで明治十五年以降寺院側に還付の方向を取り特に昭和二十三年改正憲法の政教分離の原則にそい、又旧来の沿革と既得權を尊重し、併せて信教自由の保全を期するの趣旨を以て適正なる所屬を確定すべく立法措置を構じ全面的に宗教団体側に返還せられる事に依り一応この件に關しては現在問題の生ずる余地は全く有しない。

その上尙政府に於いては同様趣旨を以て各都道府県長官宛、地方公共団体に於ても之に準じて措置するよう内務文部次官通牒(昭和二十二年四月二日)を發し夫々の所屬にかゝる旧境内墓地の返還方を勧告して居るのであるが甚だ遺憾乍らこの通牒は地方末端行政面に於ては極めて不徹底に終りその通牒の定める時限を経過して終つた処が多い。當時世相は終戦の後

(次頁へ)

# 地方仏教徒会議

## 続々各地で開催

切実な諸問題をかゝけて

かねて全日仏が提唱していた全国主要都市における「地方仏教徒会議」は時代の進展に伴う仏教徒の要請がそうさせたのか続々と申込があり事務局を喜ばせている。

先づその才一は静岡県仏の来る十月三日静岡県民ホールにおける才三回大会を始めとして千葉県野田市仏教会の十月十日野田市興風会館における仏教徒会議、長野県仏教会における十月五日、上田市を中心とする長野県仏教徒会議、十月初旬栃木県那須を中心とする栃木県仏教徒会議等々夫々関係者は協議会を開いて着々準備を進めている。この他神奈川県、茨城県仏等に於ても何らかの計画がある模様で事務局ではその連絡をまつている。

これら地方仏教徒会議に於てはその地区独特の諸問題を中心にして心且主體的に論議が掘りさげられ真剣な研究発表が行われる筈で又中央からも全国共通の諸問題（墓地問題、解放農地補償問題、現代教化問題、新興宗教対策等々切実な問題を数多く内包しているの）で各方面から期待がもたれている。

全日仏本部では夫々の希望により指導講師を派遣する他本部常務理事以下全力を挙げて之を応援して名実共に充実した会合にすべく努力中である。

### 静岡県仏教徒会議

十月三日静岡市で開かる

かねて活潑な地方仏教運動を展開している静岡県仏教会では全日仏提唱の「地方仏教徒会議」開催の声に呼応して来る十月三日左の通り才三回県仏地区大会（中部大会）を静岡市県民会館大ホールで開く事を決定目下着々各方面と連携して、その準備に大奮である。特に去る九日午前九時より静岡市春日町の安立寺で全県下の支部長理事会が開かれ、本部から、佐瀬総務局長、高橋部長が特派されて種々懇談協議の素材を提供した。かくてこの会議で本きまりとなり、愈々十月三日静岡市県民会館ホールで盛大に開催されることになり、全日仏会長高階親下のもとツセージを送る他栗本、佐瀬局長、高橋部長が出席して協力する。

#### 静岡県仏教徒会議要項

- 一、十月三日（金）
- 一、静岡市県民会館大ホール
- 一、八時半受付開始
- 一、九時半開会式
- 一、十四時より十四時まで全員協議会
- 一、議題

全日仏本部提案及び県内各支部提案を中心に討議研究、十四時半より記念公開講演、講師 友松、田、藤氏  
「現代における仏教の役割」

### 年次総会を開く

#### 神奈川県仏

神奈川県仏教会では、八月二十八日午後二時より、鎌倉市本覚寺で総会を開き、県下各支部より約八十名の代表が参加して盛會を極めた。

当日は全日仏から石川国際局長が出席し、全日仏の現況、来るべき才五回世界仏教徒会議タイ大会

### 文部省全国宗教法人の調査を行う

#### 日本宗連慎重に態度研究

日本宗連盟では去る十二日午後二時より東京渋谷の神社本庁に於て理事全体会議を開き左記諸問題に付て協議を行つた。

#### 記

- 一、文部省宗務課が全国都道府県を通じて行方事になつた宗教法人の境内地境内建物使用情況調査に關する件
- 二、原水爆禁止宗教者懇話会（宗懇）を強化するの件
- 三、その他

(一)に關してはすでに本年度宮城、神奈川、三重、大阪、香川、宮崎各県所轄の宗教法人を対象として実施し遂次他県に及ぶ。特に調査対象としては境内地、

釈尊二千五百年祝典等について約五十分に亘り説明し、今後の協力を要望した。

同総会では、特に解放農地補償問題に關して、この促進方の要望等が出され、その他県仏の組織強化についての協議が行われた。

なお、役員改選については、朝比余会長が勇退されて横浜の福永師が選出され、副会長は峯堅雅、吉永智承の両師が就任された。

(前頁より)

混乱期に當り通信、交通等正常を欠き悪条件の累積の時代ではあつたが少くとも行政上の措置が之等の障害に依ると言えども殆んど不問に付される如きはまことに不可解と云わざるを得ない。「新憲法の趣旨に基き従来歴史的に國家、地方公共団体と幾多の關係を有して来た宗教団体をしてその關係を離れて自主的団体としての活動を図らしめるため、其の境内及びその他の土地物件をその沿革に基き既得の權利を考慮し國有財産の処分と準じて連にその適正なる所屬を確定し、信教自由の保全を期すると共に新憲法の實施に支障のないよう」と云う政府の慎重なる考慮は寔に杞憂に止まらず、その勞を惜んだ事により今日各地に紛争を惹起しつゝあり又現在事件として問題化しておらぬ迄も常に問題を内包しつゝ過ぎつゝあると云う状態である。

此処に到つては宗教活動の制約更に信教自由の憲法上の保証を圧迫するに止らず不適正なる所屬に伴う種々の係争はひいては地方行政の痛とすらなりつゝあるのである。欺かなる状態は如何なる角度よりするも又何人にとつても好ましいとは申せない。依つて我々は国会並に關係当局に対して本問題の善処方を要請する才である。

# 悪質映画の追放を！

## 米国仏教団で決議

さきに開かれた米国仏教団定期総会において「仏教の尊長を傷つけるが如き種類の日本映画に対する善処策を講ずる」ことについて協議がなされ、万場一致をもつて左記の通り決定したことについて、米国仏教団本好乗晋師の左の趣旨の通信が寄せられてきた。

近來米国内巡業の日本映画の中に屢々仏教の尊長を傷けるが如き言動や場面が見受けられる。この種の映画は仏教の尊長を傷けるばかりでなく、これを観る仏教徒に非常な不快と憤激を与え、仏教徒に非ざる人々、殊に白人たちは日系二世三世などに理由なき誤解を与え、ひいては仏教文化を中絶とする日本文化の米国における理解と進出の上に大なる悪影響を及ぼす。この悪影響については米国における日本映画ファン的大部分を占めているわれわれ仏教徒として看過することができぬ、故に米国仏教団では、今回この種日本映画に対して適当なる善処策を講ずることとなり、左の通り実行方法を決定した。

- ① 教団本部はこの種日本映画の内容を予め知るために適当な情報機関を設け、その情報を各仏教会及び信徒に通報する方法を講ずること。
- ② 各仏教会においてはその聖堂乃至附属ホールでこの種映画の上映を差控えること。
- ③ 宗派を問わず、仏教徒はこの種映画の観覧を遠慮して貰うようにする。
- ④ この実行のため在米各教団と連携する。
- ⑤ この種映画に対する善処策実行を米国内のみに止めず、日本内地でも全日仏を通じて実行運動を展開するよう努力する。

以上の趣旨の通信があつたが、全日仏でも、さきの大会でマス・コミ対策の確立が決定されており、その一環として同問題を取り上げ、べく準備を進めている。

### ハンガリヤ仏教会より

#### お礼状

全日仏国際局では過般ハンガリヤ仏教会の要請に応じてザルコマイシン20グラムと多量の念珠を外務省を通じて贈つたが、今回アーネスト・ヘネイ会長より日本仏教徒の厚情に対して感謝する旨の航空便が本会々長に寄せられた。書面によれば重症の患者も除々に快方に向つているとの事である。

### アルバム「タイ国の仏教」

とどく

タイ仏教会（会長サンヤダルマサクテイ師）では昨年五月より盛大な仏紀二千五百年の祝典を開催し世界各国より代表多数を招き日本からも大谷光紹師ほか四名が出席したが、今回「タイ国の仏教」と云うアルバムを外務省を通じて送つて来たので早速出席した各代表大学其他へ贈呈した。同アルバムにはタイの仏蹟の紹介がなされ総天然色の優美なものである。

### 蒙古代表を迎えて

#### 歓迎パーティ

去る八月十六日午後八時より、近代仏教研究会（会長壬生照順師）主催の下、原水爆禁止世界大会に出席したモンゴル共和国代表団のシャヤビン教授外四名を迎えて日蒙親善のパーティが、東京台東区善光寺別院に於て開催され盛んな交歓がなされ仏教を通じて日蒙親善を深めた。

### ブラサド大統領来日

#### 歓迎大会の準備なる

ブラサド・印度大統領は、去る九月二十七日午後五時十分羽田空港着の特別機で来日した。「兄弟である日本人々に会いたい」というのが、同大統領がはるばる日本を訪れた目的。東洋において有力な指導国の一つとみなされ、世界の政治外交においても近年特に重きをなしている、印度の大統領であるブラサド

氏はいままでも丁重な招待を受けたにも拘らず、まだ一度も大統領として外国を訪れたことがない。いま始めてインドの元首として、まづオ一に日本をめざして訪れるということは、よくよくのことであると思われる。

同大統領歓迎国民連合では、来る十月二日午後一時より、東京都体育館で一万人の大家を集めて歓迎大会を開催することになつており、盛會が期待されている。

### 世界仏教徒会議タイ大会

#### に平和の観音像を贈る

名古屋市の平和観音奉養会より名古屋在住の篤信者古川為三郎氏を会長とする「国際親善平和観音奉養会」ではかねてより国際親善の立場より観音像の贈呈を外国仏教会へ実行し、すでにアメリカ、中国、西独乙、ブラジル、インド等へ送つていたが今回才五回世界仏教徒会議タイ大会がバンコックで行われるに際し、理事長大塚道光氏を通じて重ねて観音像寄贈を申出で関係者を喜ばせている。

今回の観音像は如意輪観音像で永平寺貫主能沢禪師の開眼されたもので二尺八寸のプロンズの立像で素晴らしい出来映えである。

### ◎ 仏旗を掲げましょう

しよう

- 大旗（横七・五尺、縦五尺） 二、〇〇〇円
  - 中旗（横三・五尺、縦二・三尺） 三五〇円
  - 小旗（横一・八尺、縦一・二尺） 九〇円
- 全日本仏教会  
振替東京三七六〇〇

- ◇ 特に伊豆地方の被害は通信網の恢復につれ益々惨烈を極めて来た。
- ◇ 誠に被災者の各位にはお気の毒の極みである。
- ◇ 関係各宗門は直に夫々救済活動を活発に展開し始めた。
- ◇ 特に静岡県仏では大会を前にして事務局に参集し、重要会議を開催中本会より見舞電話を申し上げた。直に実動を開始する模様だ。
- ◇ 本会からも大会当日義捐金として金一封を献じた。
- ◇ 事務局はブラサド大統領歓迎国民大会、タイ国における世界会議への代表派遣、各地区仏教徒会議への代表派遣等々各係りは大重で準備に忙殺されている。
- ◇ もつと／＼全日仏の最高機関は活発に動かねばならぬし動くべきであらう。
- ◇ 秋漸くたけなわにして虫声庭前にしきり、水難被害の人々の上に思いを走せる一時。

(た)